

平成 25 年度

# 事業報告書

自 25 年 4 月 1 日

至 26 年 3 月 31 日

公益財団法人南丹市情報センター

## 平成25年度 事業報告

平成25年度は3年間の指定管理期間の最終年度にあたり、これからのCATV事業のあり方や運営方法等について南丹市と協議を行いました。園部地域FTTH化事業の整備が進んでおり、平成28年度から運用を開始する予定になっていることから、それまでの2年間で新たな指定管理期間として指定を受けました。この2年間で市との協議を深め、今後の事業展開について一定の方向性を導き出すことになりました。国際交流会館については、平成26年度から3年間の期間で指定管理者に指定されました。

自主放送番組制作では、地域や人の結びつき、地域の魅力を伝えるというコンセプトを継続しながら、企画力・制作力の向上を図り、視聴者の期待に応える番組作りに取り組みました。スタッフや時間の制約を意識しながらも遠方での現地取材を行い、南丹市出身の相撲力士にスポットを当てた「夢への階段」や、東日本大震災の被災地へ子どもみこしを届けた南丹市民と東北の方々との交流を伝える「明日に向かって」、これら2本の企画番組を放送しました。ニュースの特集「やぎの花火大会 子供の日」では、子どもたちの目線で地域行事の一日を綴った作品が、京都広報賞の映像の部で会長賞を受賞しました。また数年前から番組審議会で見解が出されていた「南丹市議会定例会」の生中継放送を開始しました。そして市民に関心の高い南丹市長選に向けて開催された「南丹市長選挙ローカルマニフェスト志向型公開討論会」を生中継で放送しました。新たな取り組みにも挑戦し、積極的に編成を組み、関心をもって視聴してもらえる番組を制作しました。

施設管理業務では、放送・通信施設の安定運用を図るため保守管理体制を整備し、各施設、設備の保守点検、設備更新等を行いました。園部地域FTTH化事業においては、技術協力、事業者への指導、そして平成26年度に予定しているセンター設備や制作系設備の情報収集を行い、将来の安定的かつ経済的な運用を見据えた設備構築のため、積極的に支援、提案を行いました。

加入管理業務では、年間徴収計画に基づき現年度及び過年度滞納分の徴収を行いました。現年度分ではCATV利用料収納率98.13%、インターネット利用料収納率99.75%で徴収することができました。また加入者数が減少傾向にあることから休止や解約の理由を集計し、利用者へのサービス向上と加入者の増加を目的にインターネット環境を向上する必要性を提案し、今秋から通信速度を100Mへ増速することとなりました。また自主放送「なんたんテレビ」の番組編成の充実を目的として加入者アンケートを実施しました。

国際交流会館の運営では、南丹工芸文化祭等の多くの来場者を迎える行事や、賀詞交歓会、消防団入退団式、選挙開票等の市民の関心の高い取り組みの会場として、会館を利用する様々な行事の開催協力を行いました。また数年前から不調が出始めていた館内空調設備を更新することができました。閉店に伴い会館利用者に不便をかけていた飲食店も新たな運営団体が決まり営業を開始しました。

## 1. 放送事業

### 【放送業務】

- ・自主放送 1波  
なんたんテレビ
- ・地上テレビ放送再送信 8波  
NHK総合（京都放送局）・NHK教育・毎日放送・KBS京都・朝日放送・テレビ大阪・関西テレビ・読売テレビ
- ・BS放送再送信 9波  
NHK BS1・NHK BSプレミアム・BS日テレ・BS朝日・BS-TBS・BSジャパン・BSフジ・BSイレブン・Twelve
- ・FMラジオ放送再送信 4波  
FM802・NHKFM・FM大阪・αステーション

### 【データ放送サービス】

なんたんテレビ（11ch）のデータ放送として、地域気象情報、台風等の災害時の緊急情報、地域情報、生活情報、イベント情報、学校からのお知らせ、なんたんテレビ文字ニュース、京都新聞文字ニュースを提供した。

### 【番組制作】

地域や学校と連携を密にして情報収集及び取材にあたり、人と人との絆を結ぶ、また地域の活性化につながる番組作りに励んだ。その中で、やぎの花火大会での子どもたちの一日を追った作品が、京都広報賞の映像の部において会長賞を受賞した。

長期取材を伴う特別番組にも取り組んだ。大相撲綾部場所の開催をきっかけに、南丹市出身の力士にスポットを当てた「夢への階段」を制作。そして、園部発・東北を元気にする会が行った「子どもみこしを東北に届けるプロジェクト」の取り組みと東日本大震災で被災した東北の現状を伝える「明日に向かって」を制作した。これらの2番組では、東京、岩手での現地取材にも挑戦し、市民の関心を集める番組が制作できた。

6月から南丹市議会の生放送を開始し、本会議の様態を放送した。生放送については「やぎの花火大会」や「南丹市成人式」など例年取り組んでいるものに加え、選挙開票速報2件（参議院議員選挙南丹市開票速報（7月）、南丹市議会議員一般選挙開票速報（2月））、また4月に控えた南丹市長選にむけて、「南丹市長選挙ローカルマニフェスト志向型公開討論会」（3月）も初めて生放送した。

### 【企画力・制作力の向上】

「夢への階段」では、南丹市出身で夢へ向かって広く頑張っている若者にスポットを当て、その想いや苦悩などを紹介した。第1回は八木町出身の力士 大勇人豪士さん。

「明日に向かって」～東日本大震災被災地にて～では、園部発・東北を元気にする会が被災地に贈った「子ども神輿」と共に、被災された人たちの暮らしや復興に立ち向かう姿を描いた作品。

## 【市民参加の番組作り】

視聴者投稿ビデオで構成する新番組「市民の情報広場」を8月から放送開始した。地域の夏祭りや歴史、同窓会など8本を紹介。また番組への市民参加を呼び掛け、作品を制作したい個人やグループを支援し参加者の意識高揚を図った。

## 【定期番組】

- ・週刊ニュースもぎたて☆テレビ（週間ニュース番組）  
南丹市内や近隣地域のニュースを取材、放送した。（年間335本）  
「特集（ピックアップ）」では、市民活動や生活に密着した話題を深く掘り下げて丁寧な取材を行い放送した。（50本）この中から「やぎの花火大会 子供の日」が京都広報賞【映像の部 会長賞】を受賞した。  
「南丹工芸」では、南丹市工芸家協会の協力により24名の工芸家を紹介した。南丹市工芸文化祭の開催に合わせて10月から半年間放送した。  
エンディングで南丹市内127区を紹介した。  
視聴者投稿ビデオ（43件）、お祝い情報（151件）
- ・地域の話（市内の地域に残る伝統文化・地域行事等を紹介）  
美山町鶴ヶ岡 諏訪神社の例祭 ちびっこ相撲大会
- ・まちかどぶらっとーク！  
地域の人達、暮らし、宝、地域情報等をレポーターが現地を訪ね紹介した。  
①園部町内林町～千妻編 ②八木町池上～北広瀬編 ③神吉編  
④日吉町志和賀～保野田編 ⑤畑郷周辺編  
⑥美山町鶴ヶ岡小学校周辺編 ⑦クリスマス編（南丹市全域）
- ・スクールフェイス  
入学式・卒業式・運動会、合宿や修学旅行、学習発表会など、保育所・幼稚園・小・中学校からの投稿ビデオを編集し放送した。（172本）
- ・特集番組  
市内で開催された講演会やコンサート、舞台等を収録し、放送した。（31本）
- ・南丹市くらしのあんない版（南丹市企画 広報番組）  
市のお知らせ、消防・防災啓発、食育について紹介した。（72本）  
10月には台風18号被災者の生活再建や特別支援について紹介した。
- ・南丹市発見物語～市民協働のススメ～（南丹市企画 広報番組）  
市民協働に携わった15団体を紹介した。
- ・図書館だより（南丹市立図書館・図書室 広報番組）  
一般書と児童書の新刊78冊と各図書館の77行事を紹介した。
- ・ふれあいひろば（南丹市企画 人権尊重啓発番組）  
男女共同参画や虐待防止など人権啓発の取り組みを紹介した。
- ・なんたんテレビ学舎（教育委員会企画）  
家庭学習を支援する番組として13本を制作し、既存の番組と共に放送した。
- ・かんたん！体にいいレシピ（南丹市企画 食育番組）
- ・まゆまろと京都丹波（京都府南丹広域振興局）  
観光、温泉、自然体験や京都丹波エキスポ2013等の紹介をし、南丹市、亀岡市、京丹波町の魅力を放送した。
- ・ふくしの森  
社会福祉協議会、地域活動支援センター、福祉施設等の広報番組として各事業所の活動報告を放送した。

- ・ J A トピックス（ J A 京都制作 農業関連情報番組）  
園部支店と日吉支店から営農情報や活動報告等を放送した。（ 5 0 本）

### 【特別放送】

- ・ 生中継番組  
南丹市議会本会議（ 6 月から定例会を生放送、 9 月、 1 2 月、 3 月）  
参議院議員選挙 南丹市開票速報（ 7/21）  
やぎの花火大会（ 8/14）  
平成 2 6 年南丹市成人式（ 1/12）  
南丹市議会議員一般選挙 開票速報（ 2/6）  
南丹市長選挙ローカルマニフェスト志向型公開討論会（ 3/28）
- ・ 入学式・運動会・卒業式  
市立 4 中学校と園部高校附属中学校の行事を収録して放送した。小学校、幼稚園、保育所は、学校が撮影したビデオの提供により編集して放送した。
- ・ 文化祭  
各地域から 5 9 団体の舞台発表を収録して放送した。

### 【災害時の対応について】

9 月の台風 1 8 号被災時には、スタジオからの生放送や緊急放送システム（ L 字放送）を利用して、南丹市災害対策本部（総務課）、広報担当課、教育委員会との連携により、台風・大雨などの災害情報を提供した。

生放送（市長） 2 回、 V T R 放送 1 2 回、 L 字放送 1 5 回、文字放送 1 4 枚  
（台風 2 4 号、台風 2 6 号、台風 2 7 号でも防災情報を提供）

### 【文字放送・ T V 週報】

各種団体・公共機関・学校等からのお知らせを放送した。京都府南丹広域振興局、税務署、警察署、消防署など広域の依頼にも対応。依頼数が年々増加傾向にある。

文字放送： 6 7 3 件（前年度 6 2 0 件） T V 週報： 3 3 件（前年度 2 7 件）

### 【 C M 放送】

ニュース番組内で 7 団体の C M を放送。（有料広告 3 本、公共広告 4 本）

高屋組・ Z A Q ・あけぼの学園るり溪寮・南丹警察署（サーバー犯罪対策）・  
社会を明るくする運動・赤い羽根共同募金・京都府知事選挙啓発

### 【年賀広告放送】

なんたんテレビの文字放送枠を利用して、南丹市内の団体・企業向けに年賀広告放送を実施した。主に文字放送とホームページで募集。取材や利用等で当財団と関わりのある団体・企業に対しては各担当者から案内を行い、 2 1 団体から応募を受けた。（放映期間：元日～ 3 日、広告料 5 , 0 0 0 円 / 1 団体）

### 【番組アンケート】

「なんたんテレビ」番組編成の充実を目的として、 C A T V 加入者から無作為に抽出した 5 0 0 名（園部町 2 5 0 世帯 / 八木町 5 0 世帯 / 日吉町 1 0 0 世帯 / 美山町 1 0 0 世帯）にアンケートを実施した。

### 【広域的な取り組み】

京都府南丹広域振興局が制作する番組を京丹波町CATVとの協力により収録した。京都丹波地域での広報番組を制作し提供した。

また、非常時のバックアップ回線やテレビ再放送信号の確保等を想定して京丹波町CATVとの幹線接続について検討を行った。

### 【自主放送番組のアーカイブ】

自主放送番組の記録保存を行うシステムについて調査、検討を行い、導入に向けて南丹市担当課に提案を行った。

## 2. 通信事業

### 【インターネットサービス】

◇FTTH（光ファイバー／30M）

◇HFC（光・同軸ハイブリッド／10M）

南丹市地域情報通信ネットワーク施設を活用した安価なインターネット接続サービス（ZAQ）を提供した。

### 【インターネット専用線接続サービス】

高等教育機関へのインターネット専用線接続サービスを提供した。

### 【通信速度の高速化】

インターネットの通信速度高速化に向けて調査、検討を行い、南丹市担当課との協議により平成26年10月より100Mサービスを提供することを決定した。

### 【あんしんネット教室】

南丹市議会議員を対象に安全にインターネットを利用するための講座を開催した。

### 【シニアパソコン講座】

さくらPCクラブとの共催企画として、初心者を対象に高齢者向けパソコン講座を開催した。パソコンの起動からマウスの操作、ワードの基礎を内容とした講座を5月に開催し10名が受講。年賀状作成の講座を11、12月に開催し18名が受講した。

### 3. 施設管理業務

【工事件数（平成25年4月～平成26年3月）】

◇新規加入・解約・休止・復旧・移設等 工事件数

789件（前年度720件／69件増）

◇支障移転等による幹線工事件数 126件（前年度111件／15件増）

【施設管理】

施設の安定運用を図るため、センター、サブセンター（SC）、伝送路等の保守管理体制を整備し、南丹市担当課と調整を図りながら各施設、設備、機器類の保守点検、設備更新、機器交換等の管理業務を実施した。また今後のサービス提供や施設構築のため調査を実施した。

- ・八木SC無停電装置（UPS）バッテリー交換
- ・日吉SCエアコン交換
- ・八木SC通信機器全交換
- ・自家発電機バッテリー交換
- ・京都X-キャンプでのWi-Fi実証実験の実施
- ・園部地区FTTH化設計の技術協力
- ・機器展示会・技術セミナー等の視察・受講

【各SC機器交換】

日吉・美山・八木の各設備が導入から6年が経過する中で、機器、エアコン、UPS等、様々な故障や不具合が発生し、交換等の対応を実施した。

【八木SC UPSバッテリー交換】

八木SCのUPSバッテリーを交換した。これにより全てのサブセンターでUPSバッテリーの交換が完了した。

【八木SC通信機器全交換】

八木SCの通信機器（CM7700S）において、機器のポートが遮断し通信できなくなるトラブルが発生した。メーカーのNECに状況確認及び原因究明を依頼して調査した結果、CM7700Sに問題があることが判明。対応策として、導入している30台をファームウェア対策済みの機器に総入れ替えを実施した。

【園部地域FTTH化事業の推進及び技術協力】

伝送路工事（幹線系）が実施され、事業推進、技術協力を行った。

また、平成26年度に予定しているセンター設備工事、制作系設備工事等について情報収集を行い、将来の安定的かつ経済的な運用を見据えた設備構築のため、積極的に支援、提案を行った。

【編集システムの更新】

機器の経年によるトラブルが多発し、併せてメーカーのサポートも終了になったためシステムの更新が必要となった。情報収集及び提案を行い、平成26年度に導入する計画となった。

#### 【中継システム】

平成25年度、平成26年度の導入は見送られた。なんたんテレビの番組内容向上の一策として生中継番組の充実を計画しており、平成27年度に導入できるよう、継続して調査、検討、提案する。

#### 【BSパススルー及びV-ONU（利用者側端末装置）遠隔制御】

平成25年度、平成26年度の導入は見送られた。BSパススルーをCATV利用者へのサービス拡充策と位置付けて、園部地域FTH化事業の利用者宅引き込み工事が完了予定の平成27年度に導入できるよう、継続して調査、検討、提案する。

#### 【議会収録システムHD化】

平成25年6月より議会放送の生放送を開始した。平成17年度に導入した議会収録システムは故障が頻発し、生放送中断のリスクを抱えている。議会収録システムの調査、検討を行うとともに、議会事務局と設備更新に向けての協議を行った。平成26年度での更新に向けて調整中。

#### 【放送・通信の現況調査】

全国のケーブルテレビ局の放送・通信事情について調査を実施した。将来の動向予測と今後の展開についてレポートをまとめた。平成26年度は更に踏み込んだ情報収集を行い、将来のCATV運営に対して提案を行う。

#### 【法定同録装置について】

平成25年度、平成26年度の導入は見送られた。放送法に定められており、導入に向けて調整する。

#### 【バックアップ機器について】

機器故障時に必要なバックアップ機器の整備を計画していたが見送りとなり、平成26年度に導入する計画となった。

#### 【CATV伝送路（幹線）断線予防業務】

雑木・ツタ等による幹線障害を予防する為、幹線調査を実施した。必要に応じて平成26年の夏前に断線予防作業を実施する。

#### 【京都X-キャンプでのWi-Fi実証実験】

京都府内の大学生が美山町で宿泊しながら長期活動する「京都X-キャンプ」が8月～9月に開催され、南丹市内の公共施設でのWi-Fi環境整備を検討するため、Wi-Fiメーカーの株式会社シンクレイヤの協力により、宿泊施設3か所にWi-Fi設備を構築し、利用状況等のデータ収集を実施した。



#### 4. 加入管理業務

##### 【CATV基本サービス（平成26年3月末）】

- ◇加入者数 13,806戸  
（平成25年3月末13,737戸／増減数 69戸増）
- ◇課金対象者数 11,210戸  
（平成25年3月末11,173戸／増減数 37戸増）

##### 【インターネットサービス（平成26年3月末）】

- ◇加入者数 4,809戸  
（平成25年3月末 4,806戸／増減数 3戸増）
- ◇課金対象者数 3,317戸  
（平成25年3月末 3,453戸／増減数 136戸減）

##### 【BSプラン（平成26年3月末）】

- ◇課金対象者数 405戸  
（平成25年3月末 423戸／18戸減）
- ◇STB設置台数 470台  
（平成25年3月末 491台／21台減）

##### 【加入管理】

CATV課金対象者数について、園部町で71戸増加。一方、八木町で5戸、日吉町で12戸、美山町で17戸の減少となった。園部町の増加については、集合住宅の年間一括減免の申請が前年度に対して増加したことが主な理由である。減少は、転居が主な理由となっている。

インターネットサービスでは、園部町で54戸、八木町で88戸、日吉で15戸の減少。一方、美山町で21戸の増加となった。園部町、八木町の減少は他社への乗換が約4割を占める。日吉町の減少は転居が主な理由であるが、3月には他社乗換も2件あった。

##### 【利用料金の請求と徴収】

徴収計画に基づき、CATV滞納者には6月と11月の2回、催告書による通知及び過年度滞納分の請求を実施した。連絡が取れない等の悪質な滞納者については、停止予告及び停止決定通知書を送付し対応した。インターネットサービス及びBSプランの滞納者対応については、1ヶ月滞納があれば翌月に停止予告通知を送付し、それでも入金確認ができない場合は翌月末に停止処理を実施した。

CATV利用料の過年度滞納分の収納率は51.3%（3,368,000円）、現年度収納率は98.1%（159,330,900円）。

##### 【休止者への対応】

5年間の休止者に対して、休止期間満了の案内及び加入継続意志確認の通知を発送した。併せて加入促進用のリーフレットを同封し、サービスの復旧を促した。

休止・解約の申請の際には、申請書に休止・解約の理由を記入してもらい、その集計を基にインターネット環境向上の必要性を提案した。

### 【加入促進・広報】

インターネットサービスの加入促進として、新規・復旧で利用を開始する方に対してZ A Qグッズプレゼントキャンペーンを年間3回実施した。このキャンペーンの広報と共にZ A Qインターネットの魅力の一つであるセキュリティサービスの充実を訴求する広報を実施した。

## 5. 南丹市国際交流会館

### 【利用状況（平成26年3月末）】

◇利用回数 1,671回（前年度 1,911回／ 240回減）  
◇利用人数 24,380人（前年度28,525人／4,145人減）

### 【利用促進】

稼働率の低い部屋の利用促進として、特別会議室（2階）、展示ホール（4階）、展望談話室（5階）を対象とした利用料半額キャンペーンを7・8月、及び1・2月に実施した。期間中に9件、36回の利用があった。

一方で経費削減にも取り組み、夜間利用がない場合の閉館時間の繰り上げや、委託業務の一部集約等を実施した。

### 【会館利用者の利便性向上】

会館1階のレストラン「グランビア」撤退に伴い事業者との関係を整理、清算した。撤退後も会館利用者の利便を確保するため飲食店は必要であり、一般公募により新たな団体を選定し、11月よりコミュニティカフェ&ギャラリー「C o c o C a n」をオープンした。

会館利用者からコスモホール内でインターネットを利用したいとの要望を受け、今後多くの利用者から望まれるものとしてコスモホールにインターネット通信環境を整備した。

初めて訪れる来館者等に会館名称がわかるよう、1階正面玄関、西出入口、地階出入口、事務所入口に看板を設置した。

### 【事業協力】

南丹工芸文化祭など会館を利用する様々な行事の開催に協力した。10月には国際交流会館をピンク色にライトアップし、京都府南丹保健所が行うピンクリボン活動に協力した。

- ・第23回参議院議員通常選挙及び南丹市議会議員一般選挙開票所受入
- ・平成25年度南丹市書き初め展開催協力
- ・丹波史談会主催「丹波の文人遺墨展」開催協力
- ・南丹工芸文化祭開催協力
- ・南丹市消防団主催「平成25年度南丹市消防団入退団式」の休館日利用対応
- ・船井青年会議所主催「賀詞交歓会」の休館日利用対応
- ・ピンクリボン活動に伴うライトアップ協力

### 【計画的な施設修繕】

会館竣工当時から稼働しており数年前から故障と修繕を繰り返していた空調設備を更新した。

### 【防災管理の実践】

有事の際に職員が迅速かつ的確な対応を行い会館利用者の安全を確保するため、会館1階の屋内消火栓設備を使用した消防訓練を全職員参加で実施した。また職員2名が自衛消防隊指導者研修会に参加した。また普通救命講習会を受講した。

平成23年度から3か年で行っている耐用年数超過消火器の交換を完了した。

## 6. 地域活性化支援事業

### 【国際交流事業】

「なんとにあんKids'カーニバル」など、国際交流協会との共催イベントの実施や、各種イベントの広報協力を行った。

### 【高等教育機関の取り組みを情報発信】

各種高等教育機関との連携を深めて情報収集を行い、各校の特色ある取り組みを紹介した。

### 【情報教育・社会体験への協力】

児童・生徒の情報教育に関する施設見学や勤労体験学習等を受け入れた。

#### ・施設見学

八木中央幼児学園年長児（6/18）、摩気小学校3年生（6/27）、  
園部第二小学校3年生（7/2）、吉富小学校1・2年生（1/28）

#### ・勤労体験

園部中学校2年生2名（11/13～15）、八木中学校2年生2名（11/21～22）

#### ・インターンシップ生受け入れ

京都学園大学1名（8/6～15）

### 【各種イベントの開催・協力】

南丹市役所や各種団体から南丹市情報センターのマスコットキャラクター「じゅういちくん」の出演依頼が多数あり、地域イベントなどに出演した。併せて取材を行い、イベントのPR放送を実施した。